

年頭のご挨拶



香川県中小企業団体中央会
会長 国東 照正

明けましておめでとうございます。

皆様方には、平成25年の輝かしい新春をお健やかに迎えの心からお喜び申し上げます。

また、平素は、本会の運営に際しまして、格別のご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、わが国経済は、歴史的な円高とデフレが続く中、復興需要が下支えとなり、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待され、10月に全国の中央会関係者が一堂に会した第64回中小企業団体全国大会(宮崎県)におきましても、私ども中小企業団体の総意として「地域産業の再生・発展」を決議し、政府に総合的経済対策の早急な実現を要望いたしました。

こうした中、年末には衆議院の解散総選挙が行われ、新政権が3年3か月ぶりに誕生し、経済や外交の停滞をはじめとする内外の重要課題に対して強力でスピード感のある政策の実行が求められているところです。

本会は昨年、新たな取り組みとして、国連が宣言した「2012国際協同組合年」に合わせて、県下の農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、信用組合並びに生活協同組合など他の協同組合組織と初めて連携し、2012国際協同組合年香川県記念事業実行委員会を発足させ、協同組合が担う社会

的、経済的役割を広く伝えるためのパネル展、学習会並びに協同組合フェスティバルなどを開催し、関係者や多くの一般参加者への普及活動を展開いたしました。

この新たな連携は、本年も引き続き継続し、既存の枠組みを超えた様々な可能性を探りたいと考えております。私ども中央会は、全国中央会を中心に震災からの産業復興スローガンとして「組合・絆・ルネサンス」を掲げており、今後とも他の組合関係組織との連携には積極的に取り組んでまいります。

また、中小企業団体の唯一・専門の支援機関として、本来の使命を十分に果たすべく、中小企業並びに中小企業連携組織のニーズを的確に把握し、地域産業の支援をはじめ、経営革新・創業等への支援、情報化対策、雇用・労働対策事業の実施、新規組合設立の一層の推進などの諸事業や次世代を担う青年部の新企画事業等の活発な活動を国・県等との緊密な連携のもと従来にも増して注力いたします。

新年を迎え、中小企業組合をはじめとする関係者の皆様方が、心も新たに、組合組織等の多様な連携のもと、本県経済の発展と中小企業の振興のために邁進されますことをご期待申し上げますとともに、本年が皆様方にとって前途明るい年となりますことをお祈り申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

年頭所感



四国経済産業局長
獅山 有邦

平成25年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日本経済は、深刻な財政状況や長引く円高等の内なる構造的課題に加え、エネルギー制約や世界経済の減速といった外的要因が重なり、かつてない危機に直面しています。被災地の早期復興と日本経済の再生のため、目の前にある厳しい状況と課題の解決と今後の発展に向けて、年頭にあたりその気持ちを新たにしております。

平成25年度、経済産業省は「価値創造」経済への転換による「稼げる」産業・企業群の創出、「稼げる」グローバル市場環境の形成等を政策の柱とすることとしています。

当局では、この政策方針の具体化の観点から本年も引き続き日本経済の環境変化に柔軟かつ機動的に対応しつつ関係機関と連携して、力強く環境変化に立ち向かう四国を目指してまいります。

第一は“ものづくり”で、関係機関と連携し、四国に集積する高機能素材をはじめ高度な技術技能を活かして「成長産業の育成」の動きを力強いものとしてまいります。

第二は“まちづくり”で、「産業間連携の促進」により中心市街地等をフィールドとした都市部の消費者と生産者を結ぶ仕組みづくりを積極的に支援してまいります。

第三は“基盤づくり”で、企業や社会で活躍できる人材などの育成、安定的電力供給や節電・省エネなどをさらに進めてまいります。

四国は、全国に比べて人口減少や過疎化が先行するなど“課題先進圏”と言われてはいますが、特色のある中小企業、地場産業、世界に誇ることができるコア技術やニッチトップ企業が数多く存在し、四国からグローバル市場を目指した発展の可能性を秘めています。

課題を解決しつつ発展を促すためには、“現場”に足を運び、“変化”に注目し、“技術”やノウハウを活かしていくことが重要であり、こうしたポテンシャルの高い四国の経済により強い「明かり」がさすよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、本年も一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年を迎えて



香川県知事
浜田 恵造

明けましておめでとうございます。

皆様方には、産業の振興と活力ある地域づくりをはじめ、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、深く感謝いたします。

現在、欧州や中国など世界経済が減速する中、景気の先行きが懸念されており、また長引く円高・デフレなどの影響により、地域経済は依然として厳しい状況にあります。こうした中、地方においては、自らの選択と責任に基づく地域経営を積極的に進めていくことが求められています。

このため、香川県では、「元気の出る香川づくり」、「安心できる香川づくり」、「夢と希望あふれる香川づくり」を三つの柱として、海と田園と都市の魅力がきらめく香川をめざし、各種施策に全力で取り組んでいます。

とりわけ、「元気の出る香川づくり」では、経営資源が限られている中小企業が活発に事業展開できるよう、新製品の開発支援や大手企業との展示商談会の開催をはじめ、県産品のブランド化や国内外での販路開拓などにより、足腰が強く競争力の高いものづくり産業の育成を強力

に推進するとともに、雇用の確保・拡大を図ってまいります。

また、本年3月20日から、「海の復権」をテーマに、二回目となる「瀬戸内国際芸術祭2013」が開幕します。今回は、新たに中西讃の五つの島を加え、十二の島々などを舞台に、瀬戸内の季節ごとの魅力にふれながらアート作品を楽しんでいただくため、会期を春、夏、秋に分けて開催します。アートを通して、美しい風景や豊かな伝統文化に彩られた瀬戸内海の魅力を国内はもとより世界に向けて情報発信するとともに、高松・台北線の定期航空路線の開設などにより、観光交流だけでなく、経済活動も含め本県、ひいては四国の活性化につなげてまいりたいと考えています。

皆様方には、今後とも、各般の取組みの推進を図られ、本県経済の発展と活力ある地域づくりに一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

新しい年を迎え、香川県中小企業団体中央会のみすますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

年頭に当たって

～「組合 絆 ルネサンス」の結実に向けて～



全国中小企業団体中央会
会長 鶴田 欣也

明けましておめでとうございます。

震災からの復興や成長分野への産業構造の転換が喫緊の課題となる中、我が国は昨年もデフレからの脱却を果たすことができず、日本経済は大きな岐路に立っています。今年こそ、国の礎である中小企業が報われ、希望の光が燦々と差し込む年としたいものです。

顧みますと、全国中央会の会長に就任して4度目のお正月を迎えることとなりました。最も力を注いできたことは、大きく二つあります。一つは、①中央会の存在価値をアピールすること、もう一つは、②中央会・組合間の情報の共有化を図り、中央会の職員一人一人が生き生きと働けるようにすることです。中央会トップセミナー、中央会事務局長会議の開催、参加型の中央会指導員研修など中央会間の情報の共有化を図るため、各層ごとに幾重にも直接語らう場を設けましたが、今後とも、関係各位の積極的な参画をお願いいたします。全国中央会としても、それをしっかりと受けとめていきます。

「組合 絆 ルネサンス」の結実に向けて衆議院解散による予算編成の遅れ等による景気減速、中小企業金融円滑化法の期限到来による資金繰りや消費税の引上げに対する不安、エネルギーの安定供給への危惧など先行きが見えない状況を何としても打開していく必要があります。

新政権には、一日も早く中小企業が再び元氣

を出して頑張れるような政策展開を何よりも期待するものです。そして、全国の中小企業がどの地域においても組合等連携対策をはじめとする政策支援が受けられるようきめ細かな支援体制が採られることが必要不可欠です。

このような状況下、政府では、小規模企業施策や支援体制を抜本的に強化し、海外展開の更なる支援、下請取引の適正化、事業承継・技能承継、若手・女性層の創業等を推進することとしています。このことは、中小企業組合等中小企業団体が果たすべき役割を高めるものと考えています。

東日本大震災は、中小企業間での復興連携、今後に備えての防災連携など地域市民を巻き込んだ新たな関係性による産業再構築の契機となったのではないのでしょうか。中央会として、絆と共感の中に、そのための仕組み、風土をつくり、日本の未来の可能生を作り出していきたいものです。

この歴史的転換と言える今、中小企業組合等中小企業団体の皆様におかれましても、中小企業の発展のため共に力強く前へと邁進いただきますようお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって、忘れられない素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます、年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成二十五年 元旦

年頭挨拶



株式会社商工組合中央金庫高松支店
支店長 国分 孝一

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年日本の景気は、東日本大震災からの復興、タイの洪水からの挽回生産、エコカー補助金の復活などにより、春頃までは持ち直しの動きを見せました。しかし、その後は欧州や中国経済の減速、長引く円高などによる輸出の減少に加えて、エコカー補助金の終了といった政策による押し上げ効果の剥落といった要因も重なって厳しい状況にあり、先行きの不透明感も強くなっています。中小企業の景況についても、3月には東日本大震災以前の水準近くまで回復するなど、一時は持ち直しの兆しが見えましたが、その後は一進一退を続けながら緩やかに低下してきました。

こうした中、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、円高等の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組み、資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持・経済の安定

に貢献することが出来ました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、成長戦略総合支援プログラムを活用するなど、全力でサポートしてまいりました。

本年も、先行き不透明な金融・経済環境が続くことが予想されますが、商工中金は、皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、中小企業の皆さまが抱える経営課題に対しては、その解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまと一緒にこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思っています。「中小企業の中小企業による中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日本を支える中小企業の皆さまが大きな力を発揮し、日本を発展させていくことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願
い
申し上げます



迎春

香川県中小企業団体中央会

会 長	国東 照正	香川県信用組合	理 事	神原 満	川重坂出事業協同組合
副 会 長	八木 敏彦	全四国スレート販売協同組合	//	岡野 紘彦	香川県造園事業協同組合
//	細溪 英一	協同組合日専連高松	//	大内 泰雄	香川県商店街振興組合連合会
//	合田 武	香川県鉄工事業協同組合	//	太田 元	庵治石開発協同組合
//	佐々木 勝	香川県食糧事業協同組合	//	吉田 勤	日本手袋工業組合
専務理事	谷野 克明	専 従	//	辻村 啓一	香川県砕石事業協同組合
常任理事	小竹 義孝	香川県建築事業協同組合	//	山下 正一	香川県電気工業工業組合
//	榊 久雪	香川県火災共済協同組合	//	増田 浩	瀬戸内食品加工協同組合
//	松田 等	香川県漆器工業協同組合	//	三矢 昌洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合
//	佐野 年計	香川県印刷工業組合	//	鳥居 弘明	小豆島調理食品工業協同組合
//	太田 英章	香川県臨海企業団地協同組合	//	佐々木 正富	建設協同組合高松総合センター
//	田中 光男	香川県中古自動車販売商工組合	//	中村 新一	香川県家具商工業協同組合
//	貞野 正昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	//	木下 敬三	香川県製粉製麺協同組合
//	大峯 茂樹	本場さぬきうどん協同組合	//	日下 雅彦	香川県不動産事業協同組合
//	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合	//	向井 幸司	香川県自動車整備商工組合
//	塩 日出男	香川県屋外広告美術協同組合	//	川原 陞	香川県美容業生活衛生同業組合
理 事	大倉 健一	香川県農機具商工業協同組合	//	三好 忠廣	香川エルピーガススクリーン協同組合
//	川畑 政廣	香川県タクシー協同組合	//	斉藤 孝	香川県建築設計協同組合
//	鎌田 郁雄	香川県醤油工業協同組合	//	土居 正明	中央会青年部会長
//	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合	監 事	大塚 成和	香川県中央コンクリートブロック協業組合
//	中川 悟	香川県管工事業協同組合連合会	//	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング
//	三木 義忠	小豆島手延素麺協同組合	//	長居 亮三	高松エルピーガス販売協同組合
//	楠木 寿嗣	社団法人香川県トラック協会			

風呂ブームは来ずとも……



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

みなさま、明けましておめでとうございます。当方の担当もついに10年目に突入しましたが、本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

今回の話題は、「風呂と温泉」です。昨年は、映画「テルマエ・ロマエ」が公開され、早速観たのですが、邦画としては異例の、実に優れた娯楽映画でした(原作マンガから離れた後半部はちといただけませんが)。そして、そのキャッチコピーは「空前の風呂ブームがやってくる」というものでした。

果たして「風呂ブーム」とはどのような状況を指すのでしょうか?個人の1日当たりの入浴回数が顕著に増加する、あるいは家庭用の風呂グッズが大流行することでしょうか?これらはどうも違うような。それでは、温浴施設に足を運ぶ人々が増加することでしょうか?こちらについては、確かに5月頃に訪れた大阪の「スパワールド」で、同映画の劇中に登場した「ワニとバナナの湯」などを模した浴槽を設置するなど、タイアップしたフェアが開催されておりました。ですが、他の温浴施設の多くが追隨したというわけでもなさそうですし、また、そのために来訪客が顕著に増加したわけでもなさそうです。

同映画公開後の巷の動きを見ていると、それをきっかけにした空前の風呂ブームは来っていないようですが、風呂好きの、そして温浴施設を好む老若男女はわが国にはもともと多数いるわけですので、風呂に入ることは、とくに新たなムーブメントなどなくとも、「お手軽な休養・娯楽」として、すでに国民の間に認知・定着していると解してよいのではうね。そして、同映画のヒットはこの下地によりもたらされたもので、同映画は我々が日常ありふれたモノとしてとくに意識していなかった「入浴文化」を再確認させてくれた、と考えるべきなのでしょう。

当方は実は風呂マニアでして、風呂や入浴に関する書籍もだいたい集めております。自宅の風呂を設計した際には在来工法で、少し広めに面積を取り、コスパに優れた最適なバスタブを選び抜き、BGMを大音量で聞かため、天井には防水スピーカを埋め込み、景色がよく見えるように透明の大窓、そして、通風性を確保するためのルーバー窓を取り付け、タイルは輸入物とするなど、それなりに細かくこだわりました。おかげで毎日の朝晩の入浴は実に快適で楽しいものとなっています。と言っても、平日の朝方は15分きっかりで完了させざるを得ませんが…。

知人などの大邸宅にお邪魔しても、風呂がとくに工夫もないフツーの1坪サイズのシステムバスだったりすると、その都度、住人のセンスのなさにがっかりして、「ほかにはカネをかけているクセに、なんで風呂にもっとこだわらなかったのか」と深い憤りを感じてしまいます(ややおおげさな表現です)。そして、そのことを実際に相手に告げると、「いや、確かに自分でも建てた後にちょっと物足りないとは思っているが、温泉に行くから…」と返答が来ます。

そうですね、確かに温泉やスーパー銭湯に

時々行くことで、埋め合わせには十分なり得ます。

当方の場合は経験値をアップするために、温泉のある土地に出掛けた折には、できるだけ立ち寄りように心がけております。湯治ではなく、「お湯自体を味わう」ことが目的ですので、当然、どこに行っても(マンネリの)海の幸、山の幸がてんこ盛りとなる宿泊はせず、日帰りです。当方がとくに評価ポイントと考えるのは、①眺望や内外のロケーション、そして②泉質であり、超メジャーな温泉地はさておき、自分が実際に行った範囲では、①では「奥道後ジャングル温泉(松山市)」、「かもだ岬温泉(阿南市)」、「平内海中温泉(屋久島町)」など、②では「七里田温泉(竹田市)」、「酸ヶ湯温泉(青森市)」、「斐乃上温泉(奥出雲町)」などが高評価と言えます。

ただし、日常的に通うことができるのは、やはり近場ですので、香川県内の温泉事情にぜひ期待したいところです。しかし、これが残念ながら総じて魅力が今ひとつで、さらに、温浴施設のことが全然わかっていない人間が設計したとしか思えない施設(公営施設が多い)にも時々出くわします。その中で、転勤族が絶賛するのは「仏生山温泉」で、高松中心部から至近にあるにもかかわらず、その泉質はかなりポイントが高く、「さすがクレーターから湧き出すお湯だ!」と当方も足繁く通っております。

さてさて、素朴な疑問ですが、これら温泉の泉源は枯渇してしまわないものなのでしょうか?一時期、「偽装」が世間を賑わしましたが、この原因の一つとして、「濫用により以前ほどの湯量が確保できなくなった」ことが挙げられ、確かに局所的には枯渇したようになるケースがあるようです。しかし、このような場合も、単に温泉の汲み上げ口よりも泉源の水位が低下しただけであって、ポンプが届かない地下には豊富な湯量が残っており、適切な使用量に止めていれば、やがて回復するようです。これは、雨水が継続して地中に浸透して供給されていくため、この点が「油田」とは大いに異なるところなのです。

そして今や、きわめてたくさんの温泉が各地に存在するわけですので、この先、一部の地域に集中した大規模開発が行われ、濫用される可能性は低くなるように思えます。何より、わが国は「世界の三大地熱資源保有国」の1つであり、枯渇の心配などする必要はなく、むしろ、このクリーンなエネルギー源を発電をはじめとしてどんどん使うべきなのです。

考えてみれば、「地温勾配(地中の温度が深さとともに上昇する割合)」は100mにつき平均約3℃ということですので、1,000mも掘れば温泉(温泉法の定義では25℃以上の水温があれば「温泉」)に突き当たることになるのです。もちろん、掘削等の高コストに見合うだけの質・量が確保できるかどうかは温泉開発の課題となりますのですが、今後我々は温泉の新たな価値にもっと目を向けるべきなのでしょう。

NEWS
1

さぬきうまいもん祭り2012
「食の大博覧会」大盛況

11月23日～25日にサンメッセ香川(高松市林町)において、さぬきうまいもん祭り2012「食の大博覧会」が開催され、県内外から3日間で延べ65,000人が会場につめかけ、大変な盛り上がりになりました。

この催しは香川県やさぬきうまいもんプロジェクト実行委員会などが主催し、会場は「畜産グルメゾーン」や「県産品ゾーン」など13のゾーンに分けられそれぞれのブースで県産品の展示や販売が行われ、総数約130団体が出展し、うち会員組合からは次の4組合が出展し、趣向をこらして県産品のPRを行いました。

香川県食肉事業協同組合連合会・高松食肉事業協同組合

畜産グルメゾーンでは、香川県食肉事業協同組合連合会は5年に1回開催される「全国和牛能力共進会」に出品した讃岐牛・オリーブ牛や「第1回讃岐牛・オリーブ牛振興会」で最優秀賞を受賞した牛肉などの試食販売及びアンケートを行いました。また、高松食肉事業協同組合は、香川県産のホルスタイン牛をステーキやすき焼きなど用途に合わせて販売しました。

試食コーナーやアンケートコーナーでは長蛇の列ができ、販売コーナーでは準備していた商品が連日売り切れるほど、大盛況でした。

今後は2月10日林田運動公園(坂出市)で開催の「坂出天狗まつり」や2月16・17日栗林公園(高松市)で開催の「栗林公園梅まつり」にも出展します。



▲試食コーナー(香川県食肉事業協同組合連合会)



▲販売コーナー(高松食肉事業協同組合)

本場さぬきうどん協同組合

屋外のグルメゾーンにおいて、お餅の入った「年明けうどん」と讃岐名物「しっぽうどん」を販売しました。

この「しっぽうどん」は昨年4月に東北の被災地で行った炊き出しと同じメニューで、3日間で約1,500食が売れました。食の大博覧会当日はとても寒く、訪れたお客様の体を暖めていました。



▲「年明けうどん」と「しっぽうどん」

小豆島手延素麺協同組合

小展示場の県産品PR展示ゾーンにおいて、伝統の組合ブランド「島の光」の素麺やひやむぎ、新しく開発されたオリーブ素麺やカップ麺など、たくさんの商品を展示しました。お客様はカップ麺などを手に取り興味深そうに見入っていました。



▲素麺の展示

日本手袋工業組合(吉田勤理事長)は12月5日~11日高松天満屋(高松市常磐町)で東かがわ市ニューツーリズム協会と合同で「てぶくろ展と東かがわフェア」を開催しました。

昨年に引き続き2回目となる今回は、アウトレット手袋販売会も行い、市場の40%~90% OFFの商品を販売し、駆けつけたお客様に大変好評でした。

また、てぶくろ展では、メジャーリーグやプロゴルファーなどの有名スポーツ選手使用の手袋展示コーナー、公募デザインの作品展示や人気投票、手袋人形体験教室を行いました。

その他、今年初めて「ゴルフ手袋のオーダー受注会」を行い、一本ずつ手の指の長さや太さを計測し、お客様の手にぴったりのゴルフ手袋を作成していました。

会場には、10月に発表のあった組合キャラクター「てぶくろ君」も登場し、連日多くのお客様で賑わいました。



▲公募デザインの作品展示(最優秀賞)



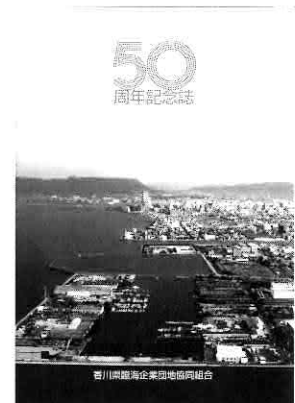
▲アウトレット手袋にたくさんのお客様

香川県臨海企業団地協同組合(太田英章理事長)は11月17日に組合設立50周年記念式典を行い、記念誌を作成しました。

組合は、昭和37年11月に組合名「香川県木材工業団地協同組合」として、外材輸入の増加、市街地における公害問題等により集団化を実施することを目的に工業団地組合として設立しました。以来組合員を取り巻く厳しい経営環境を克服し、更に平成20年より名称を現在の香川県臨海企業団地協同組合に変更、ウォーターフロントの特性を活かした組合事業の新たな可能性に挑戦しています。

設立50周年記念式典では、本会の谷野克明専務理事と商工組合中央金庫国分孝一高松支店長の来賓挨拶の後、記念撮影が行われ、盛大に懇親会が行われました。

記念誌は、太田理事長と50周年記念樋口実行委員長対談や役員の随想、50年のあゆみなどが掲載されています。



▲記念誌



▲記念撮影

中央会だより 1

新規学卒者等の採用に関する要請

12月21日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、新規学卒者等の採用などを含む雇用確保等に関する協力要請がありました。

リーマンショック以降急激に悪化した香川県の雇用失業情勢は、有効求人倍率が平成23年7月以降1倍台となっているものの、このところ持ち直しの動きが弱まっており、新規学卒者の雇用環境についても、欧州や中国など世界経済が減速する中、景気の先行きが懸念されており、予断を許さない状況です。

今回の要請は、このような状況を踏まえ、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対してなされました。



▲要請を受ける谷野専務理事(右)

つきましては、会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力をお願いいたします。

- (1)新規学卒者及び未就職卒業者の採用枠の拡大・追加求人
- (2)卒業後3年以内の者の新卒者枠での応募受付

中央会だより 2

講演会等のお知らせ

下記のとおり講演会等を開催いたします。

みなさまお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

【香川県中小企業団体中央会】

- 日 時 平成25年1月23日(水)16時～
- 場 所 高松国際ホテル 新館2階「瀬戸の間」高松市木太町2191-1 TEL 087-831-1511
- 内 容 (1)講演会(16時～17時30分)
テーマ 「2013年 日本経済の見通しと中小企業」
講 師 大阪経済大学客員教授・経済評論家 元日経新聞編集委員 岡田 晃氏
(2)交流会(17時40分～18時30分) 参加料/無 料(講演会並びに交流会)
- 申込先 香川県中央会 総務企画部(藤井、朝國、片岡) TEL 087-851-8311



▲岡田晃講師

【香川県商店街振興組合連合会・香川県中小小売商団体連合会】

- 日 時 平成25年2月6日(水)15時～
- 場 所 ロイヤルパークホテル高松 香川県高松市瓦町1-3-11 TEL 087-823-2222
- 内 容 (1)講演会(15時～16時30分) 3階「シルクホール」
テーマ 「揺れ動く内外情勢と日本経済の展望」
講 師 時事通信社解説委員 田崎史郎氏 受講料/無料
- 申込先 香川県商店街振興組合連合会 事務局(谷本、西本) TEL 087-851-8311



▲田崎史郎講師

中央会だより 3

事業主の皆さんへ

一般事業主行動計画を策定し認証マークの交付を受けましょう

「一般事業主行動計画」とは

企業が子育てをしている労働者等の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などの取組を行うため、①計画期間、②目標、③目標達成のための対策とその実施時期が含まれている計画のことをいいます。平成23年4月1日からは、行動計画の策定・届出、公表・周知が、従業員101人以上の企業に義務づけられるようになりました。

国の認定マークです

「厚生労働大臣の認定」とは

行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができます。

認定を受けるためには、各企業において行動計画を策定し、その旨を香川労働局雇用均等室に届け出るとともに取組を行い、一定の要件を満たす場合に、香川労働局雇用均等室に認定申請を行うことで、認定を受けることができます。

厚生労働省の認定を受けると、認定マーク「くるみん」の交付を受けられます。

このマークを求人広告、自社の商品当について、企業のイメージアップが期待されます。



認定マーク「くるみん」

■お問い合わせ・資料請求は

香川労働局雇用均等室 TEL:087-811-8924

香川県の
認定マークです

「子育て行動計画策定企業認証マーク」

子育てしながら働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる企業を応援します。

県内に本店を置き、常用雇用する労働者の数が100人以下の企業が、「一般事業主行動計画」を策定し、その内容が県の定める基準を満たしている場合、県に申請を行うことにより取得することができます。

マークを取得して、優れた人材の確保や企業のイメージアップに役立てましょう。



〈認証マークのメリット〉

- ①県(労働政策課)のホームページや広報誌、経済情報誌を活用したPRや認証マークの利用(シール、名刺)ができる。
- ②知事表彰制度あり。
- ③ワークライフバランスアドバイザーによる就業規則、育児・介護休業規則など作成や労務相談に関するアドバイスを受けられる。
- ④ハローワークの求人票に、県の認証マーク取得企業である旨を記載できる。
- ⑤商工中金高松支店「かがわ子育て応援企業ローン」による低利融資が受けられる。
詳しくは、連絡先／商工中金高松支店 営業企画課 電話:087-821-6145
- ⑥競争入札参加資格等への加算
公共工事入札参加資格審査発注者別評価点について、認証マーク取得企業は加算点が受けられる。(坂出市、丸亀市、善通寺市、観音寺市(以上4市))

■お問い合わせ・資料請求は

香川県商工労働部労働政策課 総務・労政グループ TEL:087-832-3366

香川県中小企業団体中央会・連携支援部(次世代育成支援対策推進センター) TEL:087-851-8311

お知らせ

アビリンピックかがわ'12開催

平成24年度香川県障がい者技能競技大会

障がい者が日頃培った技能を競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障がい者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進と地位の向上を図ることを目的として、香川県障がい者技能競技大会を開催します。

競技種目

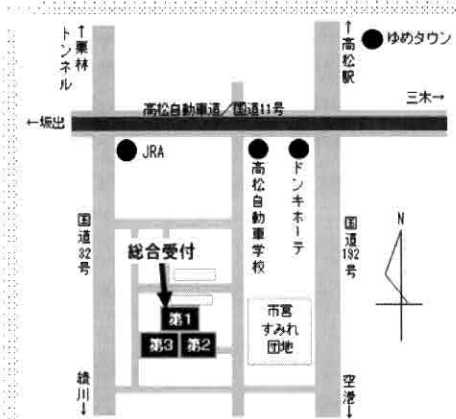
競技種目	定員	参加対象障害者
ワード・プロセッサ	10名	身体障害者・知的障害者・精神障害者
データベース	5名	
写真撮影	7名	
DTP	3名	
フラワーアレンジメント	5名	
喫茶サービス	10名	
事務所清掃	10名	
オフィスアシスタント	10名	知的障害者
縫製	3名	
木工A(上級)	2名	
木工B(中級)	3名	
パソコンデータ入力	5名	

日時

平成25年1月27日(日)8:30~15:30(予定)
競技開始/競技種目により9時~10時 表彰・閉会式/14時30分

場所

かがわ総合リハビリテーションセンター(体育館)ほか 高松市田村町 1114 番地



※公開課題は決まり次第ホームページ上で順次公開いたします。

http://www.jeed.or.jp/jeed/location/bunshitsu/37_kagawa.html

お問合せ先 香川高齢・障害者雇用支援センター TEL087(813)2051

同時開催 障がい者月間ポスター原画応募作品展・ふれあいミニコンサート(13時~14時)

主催/独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 香川障害者職業センター(香川高齢・障害者雇用支援センター)
後援/香川労働局、香川県、香川県教育委員会、社会福祉法人かがわ総合リハビリテーションセンター、高松玉藻ライオンズクラブ
NHK高松放送局、RNC西日本放送、高松ケーブルテレビ、四国新聞社、毎日新聞高松支局
協賛/穴吹エンタープライズ株式会社(高松国際ホテル)、社団法人香川ビルメンテナンス協会、ハウス美装工業株式会社、花と器サロン彩花

来場者に記念品進呈!

商工中金だより

独立行政法人日本貿易保険(NEXI)と連携し、「NEXI貿易保険付債権譲渡担保融資」制度の取扱いを行っています。

【『NEXI貿易保険付債権譲渡担保融資』制度】

貸付対象者	以下の2点を充足される方 ①NEXIの貿易保険が付保された輸出代金債権を保有する法定中小企業 ②商工中金の株主となって頂いている中小企業団体とその構成員の皆様 ◆中小企業等の皆さまで、現在中小企業団体の構成員になられていない方は最寄りの商工中金各支店にご相談下さい。
貸付形式	手形貸付 資金使途 運転資金 貸出通貨 日本円、米ドル
貸付条件	【貸付金額】(日本円)輸出代金債権額を上限 (米ドル)100千ドル以上、且つ、輸出代金債権額を上限とする 【利率】当金庫所定の利率 【利払方法】(日本円)一括前払い、(米ドル)一括後払い 【貸出期間】担保とする輸出代金債権の決済期日とする(原則1年未満) 【償還方法】期限一時
担保	①債権譲渡禁止特約がない輸出代金債権 ②NEXI貿易保険保険金請求権
保証人	必要に応じて提供いただきます
その他	融資に際しては当金庫の審査が必要となります。審査結果によってはご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。

なお、詳細につきましては、商工組合中央金庫 高松支店までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052 高松市瓦町1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 中小企業事業からのご案内 ●

なお、下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫高松支店 中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金 (固定金利型)	6億円	特別利率③ ただし、6年目以降は 基準金利+0.2%	6億円	設備 運転 15年 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	特別利率①②③	5億4千万円	設備 運転 20年 7年
新事業活動促進資金 (固定金利型)	7億2千万円	特別利率①③	2億7千万円	設備 運転 20年 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	特別利率①②③ 特設エネルギー	4億円	設備 運転 15年 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	特別利率①②	2億7千万円	設備 運転 15年 7年	経営環境変化 対応資金	7億2千万円	基準利率 (注1)	—	設備 運転 15年 8年
企業活力強化資金	7億2千万円	特別利率①②③	2億7千万円	設備 運転 20年 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 運転 10年 5年
海外展開資金	7億2千万円	基準利率 特別利率②	2億7千万円	設備 運転 15年 7年	企業再建・ 事業承継支援資金	7億2千万円	基準利率+0.3% 特別利率①	2億7千万円	設備 運転 20年 15年

(注1)●長期運転資金に限り、上限3%

(注)同一貸付でも、信用リスクや貸付期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

● 国民生活事業からのご案内 ●

融資制度内容

経営の安定を図る方に ~最大0.5%引下げ!~

ご融資の対象	最近の経済情勢等により業況が悪化し(商品・材料の値上げ、消費マインドの低下による売上の減少等)、資金繰りに支障を来している方、または支障を来すおそれがある方
ご融資限度額	4,800万円
ご融資利率	利率 0.95%~2.30%(固定:③に該当する場合*) ①売上が減少する等業況が悪化している方に対する利率低減…▲0.3% ②雇用の維持・拡大を図る方に対する利率低減……………▲0.2% ③上記の2項目に該当する方に対する利率低減……………▲0.5%

*お利息は平成24年12月12日現在のものです。お使いみち、ご返済期間、担保・保証人の有無等により異なる金利が適用されます。詳しくは公庫の窓口まで、お気軽にお問い合わせください。

設備資金ご利用の方に ~当初2年間0.5%引下げ!~

ご融資の対象	国内経済活性化に資する設備資金(一部制度を除く)を新たにご利用の方
ご融資限度額	各融資制度に定める限度額
ご融資利率	当初2年間:各融資制度に定める利率-0.5% 3年目以降:各融資制度に定める利率

● 国の教育ローンお取扱中です ●

日本公庫では、大学、高校等に入学・在学される方の保護者の皆様に對し「国の教育ローン」のお取扱いをしています。
ご利用ご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

※いずれのお取扱いも平成25年3月31日までとなっております。 ※ご相談の結果、お客さまのご希望に沿えないことがあります。

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 URL:<http://www.jfc.go.jp/>

中小企業事業
〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階
TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423

国民生活事業 融資相談係
〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階
TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274

景況は先行きに不安を抱える状況が続く

2012年11月

11月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-36.1ポイントで前月調査の-45.9ポイントから9.8ポイントの改善となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-32ポイントで前月調査の-33.3ポイントから1.3ポイントの改善、収益DI値は-38.3ポイントで前月調査の-43.8ポイントから5.5ポイントの改善となり2ヶ月連続で主要指標全てが改善となった。電気料金値上げによるコストアップへの懸念、消費税増税、中小企業金融円滑化法の期限到来に伴う資金繰りへの対応等、先行きに不安を抱える状況が続いている。

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
製 造 業	食料品	☂	☁	☁	☁	☂	☁	☂	☁	☂
	繊維・同製品	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	木材・木製品	☁	☀	☂	☁	☂	☂	☂	☁	☂
	印刷	☂	☁	☁	☁	☁	☁	☂	☁	☁
	窯業・土石製品	☂	☀	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	鉄鋼・金属製品	☁	☂	☁	☁	☂	☂	☁	☀	☂
	一般機器製造業	☁	☁	☂	☁	☂	☁	☁	☂	☂
	輸送用機器	☂	☁	☁	☂	☂	☁	☂	☂	☂
	その他	☂	☀	☁	☂	☂	☂	☁	☂	☂
非 製 造 業	卸売業	☀	☁	☁	☁	☀	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☁	☁	☂	☂	—	☁	☁
	商店街	☂	☀	☁	☁	☂	☂	—	☁	☂
	サービス業	☂	—	☁	☁	☂	☂	—	☁	☁
	建設業	☂	—	☁	☁	☂	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☁	☁	☂	☂	—	☁	☂
	その他	☁	—	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
DI値(当月)		-32	-14.3	-10.6	-10.6	-38.3	-29.8	-33.4	-10.6	-36.1
DI値(前月)		-33.3	-20	-12.5	-10.4	-43.8	-33.3	-36	-6.3	-45.9

好 転 ☀	やや好転 ☂	変わらず ☁	やや悪化 ☂	悪 化 ☂
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

DI(ディフュージョン・インデックス)…前年同月と比較した企業の景況感を示す業況判断指数

計算式: (「増加」「好転」した組合数 - 「減少」「悪化」した組合数) / 有効回答組合数 × 100

※ただし、在庫総数についてはDI値マイナスの場合には好転、プラスの場合には悪化の方向とします。

※中央会では、県内の地区業種を代表する中小企業組合の役員(19業種、48名)を情報連絡員として委嘱しており、本調査報告は、連絡員からの景況報告をもとに毎月集計しております。

業界情報

【食料品】

- 雇用人員が減少している。(惣菜)
- 12月20日出荷分から麵用小麦粉が115円値上がりとなる。(製粉製麺)
- 出荷高は前年同月比で94.2%。(調理食品)
- 前月と状況はあまり変化はありませんが、季節柄各商品とも前月と比べて売上は伸びています。(豆腐)
- 組合員から「今年は醤油の売れ行きが悪い」との意見が続出している。組合の生揚げ出荷量も前年同期比(4月~11月)で95%の悪化となっている。12月に入り御歳暮商戦がたけなわであるが、醤油の販売量が伸びないのは個人消費の減少に起因していると推測される。さらに生揚げ単価の値下要求も組合員から求められており、今後の検討課題となっている。(醤油)

【繊維・同製品】

- 今冬の寒さにより量販店、百貨店での衣料品販売は好調で手袋の販売も順調に推移している。また、ゴルフ用手袋も一時の厳しい状況を脱しつつあり、一昨年並の販売に戻つつある。(手袋)

【木材・木製品】

- 売上が少し上昇したので、ボーナス支給のかわりに日帰り旅行を実施した事業所もあるようです。(家具)
- いまひとつ活況が見えてこなくて、忙しい企業と忙しくない企業に分かれており、全体としてはいまいちである。(製材)
- 住宅着工数の減少により不況感が強まっている。(木材)

【印刷】

- 前月に引き続き弱含みの推移で、先行き不透明である。大口の発注先も発注予算は前年より弱含みであり、大幅な業績の改善は見込まれない現況である。(印刷)

【窯業・土石製品】

- 営業地区全体の需要はほぼ前年並と思われるが、他地域の業者の浸食が量を増し、常態化しており、量的に減少している。今後も継続すると思われる。(生コンクリート)
- 産地の動きがすっかり停滞した感がある。年度末に事業の清算を検討し始めた組合員の話も聞こえてくる。(石材加工)

【鉄鋼・金属】

- 建機等の重厚大型産業は堅調なもの、電子部品等軽薄短小型産業は苦戦している。国内メーカーの復権こそが当業界再浮上の鍵を握っていると感じる。(鍍金)

【一般機器】

- 産業機械部品製造、建設用機械部品製造については建設用クレーンメーカーの受注が好調に推移し、生産は昨年同様に比べても高稼働を維持している。クレーンメーカーは大型建設用クレーンを中心に海外の資源開発による受注が継続中である。また国内は震災復興による新規、買替えクレーンの発注が増えているので、関連する中小機械部品加工企業は予想以上に繁忙を呈している。船用関連企業は造船業の低迷のため厳しい経営環境になりつつあり、2013年以降は仕事量が70%に落ち込むことも予想される。造船メーカーは関連企業に対し値下げ要求にて対応を考慮しており、厳しい状況が続く。関連事業の中では新たに組み立て熱交換器製品、航空機輸送用アルミ製固定軸は順調に生産を伸ばしている。汚濁処理施工、管工事は公共事業、震災復興の需要が芳しくないため停滞が続いている。ただ、新たな方策として海外の商談会に参加し、市場の拡大を目指している。(一般産業用機械・装置)

【輸送用機器】

- 前月と同様に売上低下、人員削減の状態が続いている。(造船)

【その他製造業】

- 中国からの製品の価格が値上げ傾向にあり、業界として問題となっている。(団扇)
- 売上減少の理由ははっきりとわからないが、昨年より悪いとの声が多く聞かれた。(漆器)
- 11月は朝夕の冷え込みにより売上が伸びてきました。同業者間の仕事の分配で

呼び水の様に全体の仕事量(受注量)が増加してきました。組合員が減少したが、スピーディーで前向きな組合活動を行っていきたい。(綿覆具)

【小売業】

- 青果の価格がここに来てようやく上昇気味になってきた。冬は寒い方が、青果の価格が上がる。(青果物)
- 中東情勢の悪化を理由に原油相場が上昇し、元売の週末仕切りは3週連続値上げとなっているにもかかわらず、一部業者による安売りが行われ、小売値は若干低下中で急速に利益面が悪くなっている。近時の需要は毎年5%ずつ減少中であり、先行き不透明感が強い。(石油)
- 一般的に家電商品の動きが鈍い。当業界は今、LED照明器具に力をいれており、消費者も省エネに関心があり、蛍光灯器具からLEDへの買換が目立つ。冬物商品(暖房器具)は今のところ目立った動きは無い。年末商戦に期待しているものの、消費者の財布の紐はかたい。(電機)

【商店街】

- 寒い日が続き、衣料品は概ね好調である。飲食店は外食を控える動きから客数、単価の下落がしばらくつづくとされる。円安、株高が景気を押し上げる期待感が出ている。選挙後の政局の動向次第では来春にかけて明るくなるのではと考える。(高松市)
- ある新聞記事に高松丸亀町書店街の通行量がG街区オープン以降回復、売上も上昇していると掲載されていました。当商店街でも11月中旬に商店街内に喫茶店がオープンしたのでがんばってほしいです(高松市)。
- どの店も高齢化が進んでいる。従業員を雇っている店はわずか、夫婦だけで商売をしている店が大多数だが、高齢化で片方が病気や死亡でそのまま閉店・廃業になるケースが増えていると感じる。当然、後継者はおらずそのまま空き店舗になっている。(丸亀市)

【サービス業】

- 価格競争の結果、低価格路線で県外大手の下請や仕事量でカバーしようとしているようだ。中には自社制作からネットによる外注でクライアントに納品するという工夫も見つけられる。(ディスプレイ)
- 11月は、当社としては対前年比4%の売り上げ減で低調であった。全体に入込が少なく、動きがない。超繁忙シーズンのはずが対前年比を割ると、非常に厳しいものがある。出入りの食品業者に聞いても、9月が暇、10月は相変わらず、11月が少し動きましたとの状態で、次々と大口の倒産が発生しているとのことである。金額が大きい倒産で、非常に厳しいものがあるとのことであった。ごく一部の勝ち組(状態が悪化していないだけであるが)と、多くの苦戦している業者がいる状態である。(旅館)
- 社会全体の情勢同様に売上の上昇を望めない状況が続いている。デフレ対応で業界内のモチベーションが下がっている感じがする。(美容)

【建設業】

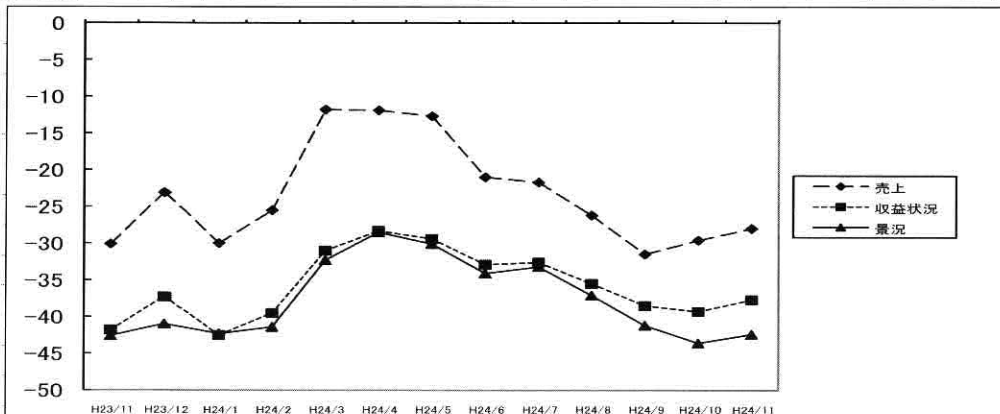
- 来年度予算の編成時期となり、最近の防災、減災の観点から公共工事に対する逆風が多少弱まりつつあるようだが、実際の数字はどうなるのか?下げ止まりに期待したい。(総合建設)

【運輸業】

- 景気の低迷により営業収入、輸送人員とも減少傾向に歯止めがかからず、依然として厳しい経営状況が続いている。特に昼間、夜間の客が少なくなっている。(タクシー)
- 10月分の高速道路通行料金支払額の対前年同月比は104.5%と4ヶ月連続でプラスとなり、7ヶ月間合計の対前年比は100.2%と何とか前年並みに戻った。11月20日に国土交通省において高速道路割引制度の継続に向けて幹線道路部会の初会合が開かれ、今年度内にも結論がまとめられるとのことである。(トラック)
- 年末年始が近づいて輸送量が伸び始めたが、直前の落ち込みが大きかったため、増収は見込めない。燃料は今も高値安定が続いており、加えて12月は円安傾向にあり、今後の燃料価格が心配である。(貨物)

全国集計による主要3指標(DI)の推移(対前年同月比)

■全業種



※集計結果は、本会ホームページ上で
もご覧いただけます。

<http://www.chukai-kagawa.or.jp/>

組合企業訪問 頑張ってます

有限会社シノハラスポーツ

SINOHARA
SPORTS

- 所属組合 香川県スポーツ用品協同組合
- 役職名 代表理事

会社の概要



代表取締役 篠原 正知

代表取締役 篠原 正知
設立 昭和33年4月
資本金 300万円
従業員数 4名
所在地 香川県観音寺市植田町33番地1
TEL 0875-24-1503
FAX 0875-24-1677
事業内容 スポーツ用品販売
ホームページ <http://www.sports-nakama.com/sinospo/index.php>



▲店の外観

沿革

昭和元年頃、先々代の社長がオリジナルのボールをリヤカーで売り歩いたのが始まりです。

その後昭和33年4月、法人化とともに観音寺の商店街に店舗を構え、平成元年に国道11号線の現在の場所にオープン。地域のみならずに支えられ、現在に至ります。

スポーツ用品市場の現在

ここ数年の、登山ブームや自転車ブームがけん引役となり、関連用品・アパレル品の売上が伸び、また、ウォーキング・ランニングなど、パーソナルトレーニング分野の商品も人気です。特に女性向けの商品は、ファッション性の高い商品が次々と生み出されており、スポーツ用品国内市場は、消費者の健康志向が高まっている状況を受け、業界は拡大基調にあります。

しかしながら消費者の志向はスポーツ用品全般を扱う大型量販店や品質や機能を重視する専門店、ブランドイメージを高めようとする国内外のメーカーの直営店に向いており、地域スポーツ店は厳しい経営環境にあります。また少子化の進行によって、学校体育などの需要が縮小することもマイナスの材料となっています。

地域密着の便利なお店

当社は、子供たちの健やかな成長や夢の実現、地域の発展に関われることを誇りに思い店の経営を行っています。商品を販売するだけでなく、お客様の快適なスポーツライフをサポートするため地域で盛んなスポーツを中心に幅広い品揃えをしております。

当社のような地域スポーツ店の多くは、競技人口の多い野球とサッカーの用品の売上が全体の6割から7割を占めていますが、当社では三豊観音寺地域は陸上競技が盛んであるという地域性を考慮し、大型店では求めることができないような専門性の高い陸上用品を販売しています。

特に陸上競技用のスパイクの品揃えは充実しており、ミズノ・アシックスの陸上スパイク、陸上Tシャツは豊富にご用意しており、初心者用スパイクは特別価格で販売させていただいております。



▲豊富な陸上用スパイク

スポーツで、明るく元気に！

また、昨年より始めたネット販売では県外のお客様からの問い合わせも多くいただいております。

○バドミントン

ラケットご購入時はガット代、張り代はサービスしております。ヨネックスのグリップテープ、ソックスはほぼ全種類在庫しており、試打用ラケットも用意しております。



▲店内の様子

○テニス

ソフトテニスをメインに品揃えしており、ラケットご購入時はガット代、張り代をサービスしております。

○ランニングシューズ

ウォーキング、ランニング初心者の方からエリートランナーまで幅広く対応しており、特にマラソンシューズ、レーシングシューズの品揃えは充実しています。また、学生さんの部活動には足を痛めないようソールがあまり薄すぎないものを薦めています。

また、地域のスポーツ少年団を対象にソフトボール大会を毎年開催しており、平成24年で32回を数えます。当時、チーム数に比べて大会の数が少なく、選手のモチベーションが下がらないという地元の声を聞き、チームの力試しの場の提供もかねて毎年3月に「シノハラ旗争奪送付ボール大会」を開催しています。

経験者ならではの「こだわり」

当社では社長をはじめスタッフ全員がスポーツ経験者ですので、お客様のこだわりを実現するためのきめ細かなサービスを提供しています。

例えば全国のスポーツショップではさまざまなガットの張り方が行なわれていますが、利用する店によって張り上がり具合が違ふことがあります。ショップでストリングマシンやストリンガーが異なっていることが原因ですが、そうするとプレイヤーはお店が変わるたびに自



▲ガット張りの様子

分に合ったテンションがわからなくなってしまいます。

例えば当社にはガットの老舗メーカーであるGOSENが認定するガット張りの資格「張人(はりびと)」を持つスタッフがいます。認定試験には筆記試験と実技試験があり、筆記試験はガットの知識を問う問題、実技試験ではGOSENのオフィシャルストリンガーが試験官となり実際にガットを張ってガット張りの技術を探点し、両方の試験で一定水準以上得点できると「張人」として認定されます。

専門知識の豊富なスタッフがプレイヤーが最も真価を発揮できるガットと張り方についてのさまざまな知識や経験を活かし、プレイヤーのあらゆる相談に乗り、あらゆる要望に対して的確な判断を行います。

今後の抱負

先代が市内の商店街から、郊外の国道沿いに店舗を移転して24年が経ちました。その間にスポーツ用品販売の業態は、インターネット販売の普及、大型店舗の出店ラッシュなどで、めまぐるしく変化しました。こんな変化の激しい時代だからこそ自店は誰のために商売をしているのかを真剣に考える良いきっかけとなりました。最初は、大型店には到底勝てないとおもっていましたが、ある団体の機関誌で「山、高さをもって貴しとせず。山貴きをもって貴しとす。」という言葉を見ました。「店も同じで大きければ良い店ではない。小さくても良い店は良い。小さな店を恥じることはない。小さな店をあなたの愛と真心で笑顔があふれる店にしましょう。」と続いていました。それからは、他店や大型店のことをあまり気にすることがなくなり、自分は自分、自分にできることを毎日一生懸命やっけて行こうと考えられるようになりました。これからも「店はお客様のためにある。」をモットーに売り手(取引先様)よし、買い手(お客様)よし、世間(地域の人々)よしの三方よしの精神で、自店に携わる全ての方が幸せになれるお店を目指して日々がんばって参りたいと思っております。

1日	小企業者組成長戦略推進プログラム等支援事業会議 (赤帽香川県軽自動車運送協同組合)
2日	中小企業組合検定試験 (ホテルマリンパレスさぬき)
3日	香川地域6次産業化連絡会議 (中国四国農政局高松地域センター)
4日	国際協同組合年記念行事実行委員会 (JAビル)
6日	四国地区外国人技能実習生受入組合協議会四国ブロック会議 (愛媛県)
	テーマ別情報提供研修 ~7日 (東京都)
7日	青年部視察研修 (東京方面)
	四国少年院施設見学 (四国少年院)
13日	小企業者組織化指導事業中国四国ブロック研究会 (JRホテルクレメント高松)
14日	香川子育て女性等の就職支援協議会 (高松サンポート合同庁舎)
	香川県北方領土返還促進協議会理事会 (マリンパレスさぬき)
17日	労働者派遣・請負事業適正実施セミナー (高松サンポート合同庁舎)
18日	中央会四国ブロック研究会~19日 (高松丸亀町壱番街)
20日	地域融資動向に関する情報交換会 (四国財務局)
	香川県次代の担い手育成コンソーシアム (香川県庁)
21日	経済団体への雇用に関する要請 (本会)
	国際協同組合年記念行事実行委員会解散式・懇親会 (高松シンボルタワー)
	香川県産業会館管理組合臨時委員会・幹事会 (香川県信用保証協会)

中小企業大学校 研修の御案内

●お問い合わせ先

中小企業基盤整備機構近畿支部

中小企業大学校関西校

兵庫県神崎郡福崎町高岡

TEL.0790-22-5931

- タイトル 人材育成プランの作り方と進め方
- 日 時 平成25年2月5日(火)~2月7日(木) [3日間]
- 会 場 中小企業大学校 関西校
- 対象者 経営幹部(部長、工場長、部門長クラス(経営後継者含む))、
管理者(課長クラス)
- 受講料 27,000円(税込)
- 定員 20名
- 特色 ①組織として取り組む戦略的な人材育成の考え方を学びます。
②指導する者に求められる役割を理解し、職場づくりのポイントを学びます。
③自社やチームに活かせる人材育成プランを検討します。
- 講師 株式会社 フェアウィンド 代表取締役 中井 嘉樹

※詳細情報

<http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/list/24kansai/065025.html>

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	聞く力~心をひらく35のヒント~	阿川 佐和子	文藝春秋/840円
2	謎解きはディナーのあとで3	東川 篤哉	小学館/1,575円
3	置かれた場所で咲きなさい	渡辺 和子	幻冬舎/1,000円
4	僕の死に方 エンディングダイアリー500日	金子 哲雄	小学館/1,365円
5	64(ロクヨン)	横山 秀夫	文藝春秋/1,995円